

競技注意事項

1. 本記録会は、2026年度日本陸上競技連盟規則及び競技会開催時における最新のWorld Para Athletics (WPA) 競技規則並びに本記録会要領により実施する。

2. 競技場使用について注意

- (1) 女子の更衣は管理棟内更衣室を利用し、貴重品は各自で責任をもって管理すること。利用は短時間とし、利用人数制限を守ること。男子更衣室は準備しない。またシャワーは使用できない。
- (2) 練習は補助グラウンドを使用すること。
- (3) 競走競技においてフィニッシュした後は、第2・第3・第4コーナーをまわってスタート地点に戻るか、メインスタンド東側の階段を上り、メインスタンド外側通路を使用すること。
(※大会本部のある正面スタンド前は通行しないこと)

3. 競技者招集

(1) 招集時間は下記のとおりとする。

① トラック競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻50分前開始、30分前に完了
2次招集	スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

※車いすの部に限り、招集については、当該種目スタート地点にて、競技開始時刻10分前までに、1次・2次招集を併せて行う。

② フィールド競技

1次招集	招集所にて	競技開始時刻1時間10分前開始、50分前に完了
2次招集	競技場所にて	競技開始時刻30分前に完了

③ リレー競技

オーダー提出締切	招集所にて	1組の1次招集完了時刻60分前に完了 (※オーダー用紙は、当日、招集所で配付する。)
----------	-------	---

1次招集	招集所にて	競技開始時刻50分前開始、30分前に完了
2次招集	それぞれの走者スタート地点にて	競技開始時刻10分前に完了

(2) 招集場所および方法は次のとおり。

① 1次招集は、招集場(競技本部、上の園路沿いスペース)で行う。

- ア. 提示されたりストの自分の番号に○をつける。
- イ. トラック競技は「腰ナンバー標識」をとる。
- ウ. アスリートビブスの点検は2次招集(現地)で受けるのでまずは自分で確認しておく。
- エ. ア〜ウが完了したら、各自で競技場所(現地)へ移動する。

② 2次招集は、競技場所(現地)で行う。(競技箇所図を参照)

- カ. 代理人は認めない。
- キ. 競技役員の指示に従って、最終コールおよびアスリートビブスの点検を受ける。
- ク. 2次招集完了時刻に現地にはいない競技者は当該種目の参加から除外されDNSと記録される。

(3) 公認の部における欠場者は、競技者係に1次招集完了10分前までに欠場届を提出すること。代理人による提出も認める。欠場届は招集所で受け取る。

4. 競技について

全 般

- (1) トラック競技及びフィールド競技の試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (2) アスリートビブスは胸背部に付ける。但し、跳躍競技の競技者は、胸または背に付けるだけでもよい。
- (3) 車いす競技者は車いすの後部に付ける。(レーサー使用の選手においては、胸に着用の必要はなく、レーサー後部に付けること。)

トラック競技

- (4) トラック競技に出場する競技者は、配付された「腰ナンバー標識」を右腰やや後方に貼り付けること。車いす競技者においては、配布された腰ナンバー標識をヘルメット左右両面に確実に付けること。
- (5) 800mは、スタートから第2コーナー出口まではセパレートレーンで行う。またスタートは出走人数により1レーンに2名入る場合がある。
- (6) セパレートレーンを使用する競走種目(60m、100m、4×100mR)では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (7) リレー競走で使用するマーカー(5cm×40cm以内の粘着テープ)は出場チームで準備すること。使用したマーカーはレース後に当該チームにおいて必ず取り除くこと。
- (8) 800m以下のトラック種目における小学生ルールは以下のとおりとする。
 - ① スターティングブロックは使用しない。
 - ② スタート方法はクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
 - ③ スタート時に、同じ選手が2回不正スタート(フライング)をした場合は失格とする。

フィールド競技

- (9) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
投てき種目の練習会場は、競技開始予定時刻30分前から競技場内投てきピットを開放する。
- (10) フィールド種目の試技は3回とする。

シューズについて

- (11) 本記録会における「公認競技の部」に出場する選手以外は、シューズ規則を適用しない。
- (12) スパイクは使用してもよい。

スパイクピンは以下の長さの平行ピンを使用すること。

トラック種目、走幅跳	9mm以内
やり投	12mm以内

※全天候型トラックでも使用できるとされている鋭利なピン付きスパイク(ニードルピン)は使用できない。

※素足での競技は禁止する。

5. 記録の発表について

- (1) 記録の掲示は行わず、WEB上にて発表する。
プログラム表紙および園内各所に掲示するQRコードを読み取るか <http://hokutan-rk.sub.jp/> にアクセスすることで閲覧することができる。

6. その他

- (1) 競技中の障害・疾病については応急処置は主催者にて行うが、以後の責任は負わない。
(傷害保険の範囲内にて対応とする)
- (2) 競技場周辺の清掃に留意し、ゴミは各自ですべて持ち帰ること。
- (3) 競技場の用器具、機器等を破損等した場合は、大会総務に必ず申し出ること。(保険対象となる場合有り)
- (4) ウィルス性の感染症や悪天候などを含む、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生または発生する恐れがある場合は、主催者は必要に応じて大会中止、一部中止、日程変更、または種目内容を変更する場合がある。中止や変更などが生じた場合の詳細は北丹陸上競技協会のホームページで発表する。

グラウンド内競技箇所図

